

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否		
岡山商科大学	専願入試特待生制度	その他	申請不要	入学金・授業料減免	全学部学科対象 ①専願入試特待生制度 【対象入試】指定推薦入試、特別指定推薦入試、専門能力推薦入試A、B 【適用条件】出願時の学業成績の状況(①:評定平均値)が4.9～5.0 ②専願入試特待生制度 【対象入試】指定推薦入試、特別指定推薦入試、専門能力推薦入試A、B 【適用条件】出願時の学業成績の状況(①:評定平均値)が4.4～4.8 ③専願入試特待生制度C 【対象入試】指定推薦入試、特別指定推薦入試 【適用条件】出願時の学業成績の状況(①:評定平均値)が4.0～4.3	①専願入試特待生制度A 授業料1/2免除(4年間) ②専願入試特待生制度B 授業料1/4免除(4年間) ③専願入試特待生制度C 授業料1/6免除(4年間)	免除・減免		①、②、③、4年間 ②年次以降は特待生資格について継続審査あり。前年度の学業成績が所定学科全体の上位1/4以内でない場合、特待生資格の継続は認められない。	①、②、③:人数制限なし	地域の制限なし	入試課	併用可	併用不可		
	資格取得特待生制度	その他	申請不要	入学金・授業料減免	全学部学科対象 ①資格取得特待生制度A ②資格取得特待生制度B 【対象入試】一部公募推薦入試、一般入試、大学入共通テスト利用入試 【適用条件】出願時に本学が指定する資格を取得している場合	①資格取得特待生制度A 授業料1/2免除(4年間) ②資格取得特待生制度B 1年次前期授業料免除	免除・減免		①4年間 ②年次以降は特待生資格について継続審査あり。前年度の学業成績が所定学科全体の上位1/4以内でない場合、特待生資格の継続は認められない。 ②:1年次前期	①、②:人数制限なし	地域の制限なし	入試課	併用可	併用不可		
	特待生特別奨学制度	その他	申請不要	入学金・授業料減免	全学部学科対象 入学試験で優秀な成績を収めた場合 【対象入試】一般公募推薦入試、一般入試、大学共通テスト利用入試	1年次前期授業料免除	免除・減免		1回限り		地域の制限なし	入試課	併用可	併用不可		
	経済学部特待生特別奨学制度	その他	申請不要	入学金・授業料減免	経済学部対象 【適用条件】入学試験で優秀な成績を収めた場合 【対象入試】大学共通テスト利用入試後期日程(経済学部特別入試)	授業料1/2免除(4年間)	免除・減免		4年間	②年次以降は特待生資格について継続審査あり。前年度の学業成績が所定学科全体の上位1/4以内でない場合、特待生資格の継続は認められない。		地域の制限なし	入試課	併用可	併用不可	
川崎医療福祉大学	川崎医療福祉大学学費減免制度	その他	家計急変事由発生時より6ヶ月以内	その他	授業料減免	1年～4年生の全学部生対象 学業が優秀であると認められ、修学の動意があるにも関わらず、家計急変等により学費の納入が難しく困難になった者	免除・減免		春学期又は秋学期の学費の全額または半額	再申請により2回まで減免	条件を満たす者全員	地域の制限なし	学生課及び教務課	条件有りで使用可	併用可	
	川崎医療福祉大学災害救済法適用地域における被災学生に対する学費減免特別措置	その他	原則として災害発生時より1ヶ月以内	その他	授業料減免	1年～4年生の全学部生対象 国が災害救済法を適用した地域において被災し、学費の納入が難しく困難になった者	免除・減免		春学期又は秋学期の学費の全額	1回限り	条件を満たす者全員	地域の制限なし	学生課及び教務課	条件有りで使用可	併用可	
	在学生兄弟姉妹入学金減免制度	入学後		その他	入学金減免	川崎医療福祉大学「川崎医療福祉短期大学」「川崎医療福祉短期大学」の兄弟姉妹が、入学した者	免除・減免	入学金の半額	1回限り	条件を満たす者全員	地域の制限なし	学生課	条件有りで使用可	併用可		
	川崎医療福祉大学奨学金	随時		学費支援	学費支援	1年～4年生の全学部生対象 経済的事情により、学費の支弁が困難であると認められ、品行方正、学力優秀であると認められる者	貸与奨学金	年額30万円	1年間	若干名		地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	川崎看護看護学奨学金	入学後		用途を定めた経済的支援	貸与奨学金 ①学業成績優秀で心身ともに健全である者。 ②卒業と同時に川崎学園の運営する病院に看護師もしくは助産師として就職できる者。 ※一定期間勤務で返済免除	年額3万円	免除・減免		標準修業年限40ヶ月	条件を満たす者全員	地域の制限なし	川崎学園 人事課	併用可	併用可		
	川崎医療福祉大学災害救済法適用地域における被災者に対する入学金等減免特別措置	学校出願時		その他	入学金減免 入学検定書及び入学した場合の入学金について、それぞれ半額	当校入学試験日の属する年度に発生した災害により、国が災害救済法を適用した地域において被災した者が、本学の入学試験を受験し、合格後入学を希望する	免除・減免	入学検定書及び入学した場合の入学金について、それぞれ半額		条件を満たす者全員	地域の制限なし	入試課	条件有りで使用可	併用可		
吉備国際大学	①特待生A、②特待生B、③特待生C、④子弟入学金	その他		①立②立③立④立⑤立⑥立⑦立⑧立⑨立⑩立⑪立⑫立⑬立⑭立⑮立⑯立⑰立⑱立⑲立⑳立㉑立㉒立㉓立㉔立㉕立㉖立㉗立㉘立㉙立㉚立㉛立㉜立㉝立㉞立㉟立㊱立㊲立㊳立㊴立㊵立㊶立㊷立㊸立㊹立㊺立㊻立㊼立㊽立㊾立㊿	①立②立③立④立⑤立⑥立⑦立⑧立⑨立⑩立⑪立⑫立⑬立⑭立⑮立⑯立⑰立⑱立⑲立⑳立㉑立㉒立㉓立㉔立㉕立㉖立㉗立㉘立㉙立㉚立㉛立㉜立㉝立㉞立㉟立㊱立㊲立㊳立㊴立㊵立㊶立㊷立㊸立㊹立㊺立㊻立㊼立㊽立㊾立㊿	①立②立③立④立⑤立⑥立⑦立⑧立⑨立⑩立⑪立⑫立⑬立⑭立⑮立⑯立⑰立⑱立⑲立⑳立㉑立㉒立㉓立㉔立㉕立㉖立㉗立㉘立㉙立㉚立㉛立㉜立㉝立㉞立㉟立㊱立㊲立㊳立㊴立㊵立㊶立㊷立㊸立㊹立㊺立㊻立㊼立㊽立㊾立㊿	免除・減免		①1年間 継続可(最長4年間減免) ②1年間 継続可(最長4年間減免) ③1年間 継続可(最長4年間減免) ④1年間 継続可(最長4年間減免) ⑤1回限り	①②③④⑤ 人数制限なし	地域の制限なし	入試広報室	併用可	併用可		
	くらしき作陽大学・作陽短期大学特待生制度(新入生対象)	学校出願時		特待生・成績優秀者	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	新入生対象 ①②③④ 各入試の成績上位者から選考する。 ⑤全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ⑥全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ⑦全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ⑧全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ⑨全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ⑩全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ⑪全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ⑫全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ⑬全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ⑭全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ⑮全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ⑯全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ⑰全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ⑱全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ⑲全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ⑳全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ㉑全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ㉒全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ㉓全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ㉔全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ㉕全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ㉖全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ㉗全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ㉘全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ㉙全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ㉚全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ㉛全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ㉜全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ㉝全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ㉞全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ㉟全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ㊱全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ㊲全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ㊳全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ㊴全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ㊵全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ㊶全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ㊷全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ㊸全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ㊹全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ㊺全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ㊻全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ㊼全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ㊽全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ㊾全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期) ㊿全学部「一般選抜前期A」方式、大学共通テスト利用(前期)	免除・減免	入学金や授業料の一部	1年間	若干名	地域の制限なし	入試広報室	条件有りで使用可	条件有りで使用可		
	くらしき作陽大学・作陽短期大学特待生制度(在学中)	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	本学の在学中(次年度を除く)、特に優れた能力を持つと判断された場合、または人物・学業ともに優秀と判断された場合に授業料の一部が給付される制度。	免除・減免	授業料の一部	1年間	若干名		地域の制限なし	学生課	条件有りで使用可	条件有りで使用可	
	くらしき作陽大学・作陽短期大学卒業生の子の入学金減免制度	入学後		入学金・授業料減免	入学金・授業料減免	新入生(次年度)生・専攻科生を除く保護者(伊藤上)の両親が、本学(くらしき作陽大学・作陽短期大学)の卒業生である場合に入学金を減免する制度。	免除・減免	入学金に準ずる額	入学時のみ	制限なし	地域の制限なし	学生支援室	条件有りで使用可	条件有りで使用可		
	松田藤子記念奨学金	随時		学費支援	学費支援	本学創立者の志に基づき、卒業年度において学費支拂の滞り、自然災害等により学費納入が難しく困難と認められる者に、別に定める額を給付。	給付奨学金	該当学年1年分の授業料、教育運営費	卒業年度	若干名		地域の制限なし	学生支援室	併用可	併用可	
	高等教育の修学支援制度による授業料減免	随時		入学金・授業料減免	入学金・授業料減免	国による「高等教育の修学支援制度」に基づき住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯である学生に対し、授業料等の減免を行う制度です。申込み資格は日本学生支援機構の給付型奨学金制度の認定を受けた学生です。	給付奨学金	【看護学部】①3年額60万円又は40万円 【総合人間学部・地域マネジメント学部】年額60万円又は25万円	1年間(更新制)	若干名		地域の制限なし	入試課	条件有りで使用可	併用可	
	くらしき作陽大学・作陽短期大学教育ローン補助奨学金制度	在学中	1年生から4年生	その他	借り入れ金に係る利息補給	本学の在学中(次年度を除く)、特に優れた能力を持つと判断された場合、または人物・学業ともに優秀と判断された場合に入学金や授業料の一部が給付される制度。	免除・減免	授業料の一部	1年間	若干名		地域の制限なし	学生支援室	併用可	併用可	
	くらしき作陽大学・作陽短期大学兄弟姉妹が同時に在学する場合の授業料減免制度	在学中	1年生から4年生	入学金・授業料減免	入学金・授業料減免	本学の在学中(次年度を除く)、特に優れた能力を持つと判断された場合、または人物・学業ともに優秀と判断された場合に入学金や授業料の一部が給付される制度。	免除・減免	授業料の一部	1年間	若干名		地域の制限なし	学生支援室	併用可	併用可	
	山陽学園大学	山陽学園大学・山陽学園短期大学協働奨学金	在学中	当該年度	学費支援	本学に在籍し、経済的理由により就学が困難であると認められた者	貸与奨学金	月額40,000円まで	1年間	若干名		地域の制限なし	事務部	併用可	併用可	
	就実大学	特別奨学生制度(新入生)	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	【対象】新入生(学部)全学部 【条件】①学業成績優秀(指定教科)、②一般選抜1期、③大学入共通テスト利用1期受験者で特別奨学生を希望する者の中から選考	給付奨学金	【看護学部】①3年額60万円、②年額80万円又は40万円 【総合人間学部・地域マネジメント学部】年額60万円又は25万円、②3年額25万円	1年間	若干名	地域の制限なし	入試課	条件有りで使用可	併用可	
兄弟姉妹入学における授業料減免制度		入学後		入学金・授業料減免	入学金・授業料減免	学校法人山陽学園の設置する学校(山陽学園大学・山陽学園短期大学・山陽学園高等学校・山陽学園中学校)に在籍する者の兄弟姉妹関係者で新たに山陽学園大学・山陽学園短期大学に入学する場合、当該入学者に係る授業料について減免です。	免除・減免	看護学部 年額25万円 総合人間学部・地域マネジメント学部 年額14万円			人数制限なし	地域の制限なし	入試課	条件有りで使用可	併用可	
特別奨学生制度(在学中)		在学中		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	前年度の学業成績優秀者の中から選考。	給付奨学金	【看護学部】年額60万円又は40万円 【総合人間学部・地域マネジメント学部】年額60万円又は25万円	1年間(更新制)	若干名		地域の制限なし	入試課	条件有りで使用可	併用可	
看護部特待生制度		学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	一般選抜1期受験者のうち、学力・人物ともに特に優秀な者。	給付奨学金	全学費	4年間(更新制)	採用人数1名		地域の制限なし	入試課	併用不可	併用不可	
沖縄等遠隔地学生支援奨学金1		その他	申込不要	入学金・授業料減免	入学金・授業料減免	沖縄等遠隔地出身者全員を対象。	免除・減免	入学金免除				人数制限なし	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可
沖縄等遠隔地学生支援奨学金2		その他	申込不要	入学金・授業料減免	入学金・授業料減免	沖縄等遠隔地出身者で、学力・人物ともに特に優秀な者。	免除・減免	看護学部 年額60万円 総合人間学部・地域マネジメント学部 年額25万円				人数制限なし	地域の制限なし	入試課	条件有りで使用可	併用可
商業・農・工業系資格特待生制度		学校出願時		入学金・授業料減免 資格取得支援制度	入学金・授業料減免 資格取得支援制度	対象学部:地域マネジメント学部 対象者:全国家資格取得者(卒業生)の協定で、3種類以上で総合検定した者 全国工業技術士会主催のジュニアイスタンスールバー以上の称号を授けられた者 全国商業技術士会主催のジュニアイスタンスールバー以上の称号を授けられた者 手続:出願の際、合格証書、認定書などの写しを提出書類に同封する。 備考:本学合格後、入学までに資格を取得した場合は対象となる。	免除・減免	入学金15万円				人数制限なし	地域の制限なし	入試課	条件有りで使用可	併用可
英語資格特待生制度		随時		入学金・授業料減免 資格取得支援制度	入学金・授業料減免 資格取得支援制度	対象学部:総合人間学部、地域マネジメント学部 対象資格:TOEFL、TOEFL iBT、Cambridge英語検定、GTEC CBTの資格取得者で、本学の規定するLevelによる、詳細は学生募集要項等に所載。入学後に資格を取得した場合も対象となる。	免除・減免	本学の規定するLevelにより、授業料を20万円～最大40万円を減額。 卒業後就職特待生・入学金を10万円減額する。				人数制限なし	地域の制限なし	入試課	条件有りで使用可	併用可
情報処理工学資格特待生制度		入学手続時		入学金・授業料減免 資格取得支援制度	入学金・授業料減免 資格取得支援制度	対象学部:総合人間学部(ビジネス心理学専攻) 対象資格:情報処理技術者試験 対象資格:基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、ITパスポート試験、学業検定2級以上 手続:出願の際、合格証書の写しを提出書類に同封する。 備考:本学合格後、入学までに資格を取得した場合は対象となる。	免除・減免	基本+応用情報技術者試験取得者は入学金を全額免除 ITパスポート試験、学業検定2級以上取得者は入学金を15万円減額				人数制限なし	地域の制限なし	入試課	条件有りで使用可	併用可
学校推薦型選抜(スポーツ文化活動)入学特待生制度		その他	申込不要	入学金・授業料減免	入学金・授業料減免	総合人間学部、地域マネジメント学部の学校推薦型選抜(スポーツ文化活動)による入学者は、入学金を10万円減額する。	免除・減免	10万円				人数制限なし	地域の制限なし	入試課	条件有りで使用可	併用可
就実大学	就実の木更学舎	その他	6月及び10月	その他	・学費の支援 ・修学に特に動意があると認められた学生に対する	給付奨学金	上層18万円		採用時に給付、後援費計にカウントせず	10名以内	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可		
	経済学学費支援奨学金	その他	1月～9月・2月上旬～6月下旬・7月上旬	学費支援	【対象】 ・全学部 ・学部費 ・他の制度により該当年度の授業料の減免を受けていない学生	免除・減免	必要経費1/2の支援で、上層10万円まで		前学期または後期いずれかの半期分、授業料の減免	若干名	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用可		
	学術・文化・スポーツ奨励金	その他	6月上旬	国際活動支援制度	【対象】 ・大学のクラブ・同好会としての活動でないこと ・学生の自主的・自発的な活動であること	給付奨学金			採用時に支給	若干名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可		
	海外留学支援奨学金	その他	4月～9月～10月の2回	留学費用支援制度	成績と人物、家庭の経済状況	給付奨学金	人文科学部・教育学部・看護学部:285,000円 人文科学部・教育学部・看護学部:385,000円 法学部:年額450,000～1,050,000円 および 入学金0～270,000円	若干名	地域の制限なし	国際交流課	併用可	併用可				
	特待生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者	特待生・成績優秀者	全学部・全学科 1年生～4年生、奨学部は6年生まで対象。	免除・減免					人数制限なし	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可
	経済学学費支援奨学金	その他	1月～9月・2月上旬～6月下旬・7月上旬	学費支援	【対象】 ・全学部 ・学部費 ・他の制度により該当年度の授業料の減免を受けていない学生	免除・減免	必要経費1/2の支援で、上層10万円まで		前学期または後期いずれかの半期分、授業料の減免	若干名	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用可		
ノートルダム清心女子大学	清心ブルー＆ゴールド奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者	特待生・成績優秀者	授業料4年間全額(ただし、学部2年生以降、毎年継続審査あり)	免除・減免		1年間	若干名	地域の制限なし	学務部 学生係	条件有りで使用可	併用可		
	ノートルダム奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者	特待生・成績優秀者	①授業料4年間年額0.4分の1	免除・減免	姉妹校・カトリック校推薦選抜の合格者のうち、成績上位者(出願時点でも自動エントリー)	4年間	若干名	地域の制限なし	学務部 学生係	併用可	併用可		
	新入生支援奨学金	入学後		学費支援	学費支援	学部1年生(高等教育の修学支援制度の採用者は除く)	給付奨学金	授業料年額の4分の1				人数制限なし	地域の制限なし	学務部 学生係	併用不可	併用可
	クワイア奨学金	入学後		学費支援	学費支援	2年～4年生の学部生対象 ①高等教育の修学支援制度の採用者は除く ②生計維持者の前年度所得証明に記載されている金額が本学の定める家計基準以下の者	給付奨学金	授業料年額の2分の1(高等教育の修学支援制度の採用者は授業料年額4分の1)	1年間	60名		地域の制限なし	学務部 学生係	条件有りで使用可	併用可	
	大学院クワイア奨学金	入学後		学費支援	学費支援	大学院生対象 主たる家計維持者の前年度所得証明に記載されている金額が本学の定める家計基準以下の者	給付奨学金	授業料年額の2分の1	1年間	15名程度		地域の制限なし	学務部 学生係	併用可	併用可	
	実習支援奨学金	随時		被災者資金支援	被災者資金支援	学部生及び大学院生	免除・減免	学費の全額または2分の1	当該期間	申請資格を満たした者全員	地域の制限なし	学務部 学生係	条件有りで使用可	併用可		
	緊急・応急奨学金	随時		学費支援	学費支援	学部生及び大学院生	免除・減免	①申請資格を満たした者全員 ②学費効果が高い者 ③主たる家計維持者の前年度所得証明に記載されている金額が本学の定める家計基準以下の者	原則として、在学中1回に限る	申請資格を満たした者全員	地域の制限なし	学務部 学生係	条件有りで使用可	併用可		
	海外留学奨学金	入学後		留学費用支援制度	留学費用支援制度	100万円(上限) 当該推薦先大学と本学授業料の差額	給付奨学金	本学協定大学への留学が認められた者	①年1回	10名程度		地域の制限なし	国際交流センター	併用可	併用可	
	学業成績特待生	その他		特待生・成績優秀者 学費支援	特待生・成績優秀者 学費支援	各高校の成績優秀者で高校推薦を受けた受験生が対象で、入学試験の成績状況に基づき審査を行います。採用期間は1年で、成績状況により継続利用可能。特別入学金指定奨学金との併用は不可、どちらにも該当する場合は、学業成績特待生として採用します。	給付奨学金	入学金の半額相当額、および授業料の5%、20,000円/年額を入学後、奨学金として給付します。	1年			地域の制限なし	教務課 入試係	併用可	併用可	
	特別入学金指定奨学金	その他		入学金・授業料減免	入学金・授業料減免	特別入学金指定奨学金で入学した学生、学業成績特待生との併用は不可、どちらにも該当する場合は、学業成績特待生として採用します。	給付奨学金	入学金の半額相当額(135,000円/回)を入学後、奨学金として給付します。	入学後1回			地域の制限なし	教務課 入試係	併用可	併用可	
実行学園教育ローン奨学金	入学後		学費支援	学費支援	入学前に、本学の進学に伴って「国の教育ローン」(日本政策金融公庫に属する)の利用申し込みをした学生。	給付奨学金	最低修業年限の教育ローン支払利息を奨学金として給付				地域の制限なし	学生課	併用可	併用可		



大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によっては(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
広島経済大学	広島経済大学入学試験成績優秀奨学生奨学金	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		対象学年：1～4 学部：全学部全学科 資格：入学試験において成績優秀で入学した者 更新条件：2年次：1年次修了単位数以上、GPA3.6以上 3年次：2年次修了単72単位以上、GPA3.5以上 4年次：3年次修了単108単位以上、GPA3.4以上	免除・減免	奨学生A：授業料及び施設費の年額相当額 奨学生B：授業料及び施設費の年額相当額の50%	1年間 更新条件をクリアすれば継続（最長4年間）	枠は設けていない	地域の制限なし	入試広報センター（新入生）、学生課（入学後）	併用可	併用不可	
	広島経済大学入学試験資格スカラシップ奨学生奨学金	学校出願時		入学金・授業料減免		対象学年：1～4年 学部：全学部全学科 資格：学校推薦出願者（資格スカラシップ）で入学した者 更新条件：2年次：1年次修了単36単位以上かつ評語及びAA評級の合計が半数以上 3年次：2年次修了単72単位以上かつ2年次に履修した科目のうちA持履及びAA評級の合計が半数以上 4年次：3年次修了単108単位以上かつ2年次に履修した科目のうちA持履及びAA評級の合計が半数以上	免除・減免	奨学生A：授業料及び施設費の年額相当額 奨学生B：授業料の年額相当額の50%	1年間 継続の条件をクリアすれば最長4年間	資格スカラシップ入学者	地域の制限なし	入試広報センター（新入生）、学務センター（入学後）	併用可	併用不可	
	学校法人石田学園学業奨学金	在学中	2～4年	特待生・成績優秀者		対象学年：2～4年 学部：全学部全学科 資格：前年度1年間の履修単位数及び当該年度の履修単位数がそれぞれ36単位以上（4年次の履修単位数は卒業認定に必要な単位数以上）、GPAが3.6以上 条件：各学年7名まで	給付奨学金	月額1万円	①1年間	①学年7人	地域の制限なし	学務センター・学生課	併用可	併用不可	
	学校法人石田学園アクティブ奨学金	在学中	1年生～4年生	その他	活動奨励金		対象学年：1～4年 学部：全学部全学科 資格：各種の活動に積極的に取り組み、他の学生の模範となる者 条件	給付奨学金	月額1.6万円	①1年間	①年間10名まで	地域の制限なし	学務センター・学生課	併用可	併用可
	学校法人石田学園学業との5年プログラム生奨学金	在学中	4年生、大学院1年生	その他	専門的な知識の修得及び高度な研究活動を志す者の支援		対象学年：学部4年生、大学院1年生 学部：全学部全学科 資格：5年プログラム合格者 条件	給付奨学金	月額3万円	①2年間	①若干名	地域の制限なし	学務センター・学生課	併用可	併用不可
	学校法人石田学園緊急時特別支援金	在学中		被災者資金支援		対象学年：1～4年 学部：全学部全学科 資格：学費支弁者が地震や台風等の自然災害を受け、家計が急変したため修学が困難と認められる者 条件	免除・減免	災害状況によりその額度決定	災害状況によりその額度決定		人数制限なし	地域の制限なし	学務センター・学生課	併用可	併用可
	海外留学奨励金	その他	派遣留学の応募時		留学費用支援制度 その他		海外留学奨励金を希望し、選考試験により優秀な成績を収めた者 ※一部の海外留学プログラムにおいて、学内成績及び語学試験の基準を設定している。	給付奨学金	短期：2～10万円を奨学金として支給 長期：最大10万円程度 ※支給内容はプログラムごととの支給条件により異なる	派遣前の一括支給	プログラム及び支援内容により人数は異なる	地域の制限なし	国際教育交流センター	条件有りて併用可	条件有りて併用可
	広島経済大学学生表彰金	在学中			課外活動支援制度		対象学年：1～4年 学部：全学部全学科 資格：大会入賞者 条件	その他	10000円～100000円（大会の種類、順位による）	その都度	人数制限なし	地域の制限なし	学務センター・学生課	併用可	併用可
	資格試験及び能力検定試験等奨励金	在学中	1年生～4年生		資格取得支援制度		対象学年：1～4年 学部：全学部全学科 資格：在学中に大学が定める資格試験等に合格した者 条件：科目等履修生及び研究生は除く 外語に関し資格試験等については、英語を母語とする学生は除く 資格試験等に合格した日から起算して1年以内に所定の手続きをすること	その他	5000円～50,000円		同じ資格については1回限り	地域の制限なし	教育・学習支援センター		
	学生感覚論文表彰金	在学中			その他	学術研究への奨励	対象学年：1～4年 学部：全学部全学科 資格：論文テーマは自由。本学学部生とし、日本語で書かれたもので未発表のものに限る。 グループ執筆も可。	その他	最優秀賞：30,000円（1本） 優秀賞：15,000円（3本） 奨励賞：5,000円（7本）	1回限り	11人	地域の制限なし	教育・学習支援センター		

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否
広島工業大学	広島工業大学特待生	その他	2年次以上 選考基準に基づき学内で選考。申請は不要。	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		2年次生以上で所定の単位数以上を取得している。 A特待生：推薦トップ学生に認定され、前年度1学期のGPAが3.5以上の者。又は学科内学内GPA順位が上位5%以内の者。 B特待生：推薦トップ学生に認定され、前年度1学期の学科内学内GPA順位が上位10%以内の者。 (そのほか学内奨励金制度への併用対象者がいる)	免除・減免	A特待生：当該学年の授業料及び施設設備費等の半額を減免する。 B特待生：当該学年の授業料及び施設設備費等のうち前年度20万円を減免する。	当該年度1年間とする。	人数制限なし	地域の制限なし	教学支援部	併用可	条件有りでの併用可
	成績優秀者奨学金制度	その他	2年次以上 選考基準に基づき学内で選考。申請は不要。	特待生・成績優秀者 学費支援		2年次生以上で所定の単位数以上を取得かつ、 品行方正で奨学生GPA順位が、当該学科及び年次において1位の者	給付奨学金	授業料及び施設設備費の一部として年額40万円給付	当該年度1年間とする。	学種及び年次において1人	地域の制限なし	教学支援部	併用可	条件有りでの併用可
	入試特待生制度	その他	入学者選抜の成績に基づき対象者が決定され、別途申請は不要	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免		・入試特待生Ⅰ 対象入試：一般選抜(A)、共通テスト利用選抜(A) 選考基準：入試得点率 80%以上 ・入試特待生Ⅱ 対象入試：一般選抜(A)(B)、共通テスト利用選抜(A)(B) 選考基準：入試得点率 70%以上 ・入試特待生Ⅲ 対象入試：学費推薦型選抜(公募前期)・(公募制(後)) 選考基準：入試得点率 60%以上 ・学修奨励金 対象入試：総合型選抜(学科推薦型) 選考基準：学科内の入試得点率が1位で、学科の推薦がある入学生 対象入試：総合型選抜(自己推薦型) 選考基準：入試得点率 上位10人	免除・減免	授業料及び施設設備費の一部を次のとおり免除または給付する。 入試特待生Ⅰ…年額100万円内免除 入試特待生Ⅱ…年額60万円内免除 入試特待生Ⅲ…年額20万円内免除 学修奨励金…年額25万円内給付	入試特待生Ⅰ：大学院1年次 在学者の最大50名程度。2年次 以降は別途選考条件あり。 入試特待生Ⅱ、入試特待生Ⅲ、 学修奨励金：入学者の1 年間	地域の制限なし	教学支援部	併用可	条件有りでの併用可	
	遠隔地学生給付奨学金	その他	学生の出身高校の所在地等に基づき対象者が決定され、別途申請は不要	用途を定めない経済的支援		対象入試：一般選抜(A)(B)、共通テスト利用選抜(A)(B) 選考基準：出身高校の所在地が九州(沖縄を含む)または遠征以上の入学生を対象。	給付奨学金	年額10万円給付	4年間	人数制限なし	地域の制限なし	教学支援部	併用可	併用可
	学園内推薦入学者奨学金	その他	2年次以上 選考基準に基づき学内で選考。申請は不要。	入学金・授業料減免		学費推薦型選抜(指定校選抜(学園内推薦入学者))により入学し、2年次以上で前年度末における通算GPAが2.7以上かつ 前年度履修単位数30 単位以上の者	給付奨学金	年額20万円給付	最長3年間(選考条件を満たす場合)	人数制限なし	地域の制限なし	教学支援部	併用可	条件有りでの併用可
	広島工業大学同窓会奨学金	在学中	毎年4月	学費支援		対象：広島工業大学に在学する者 条件：学費の支弁が困難と認められる者	給付奨学金	年額12万円	当該年度1年間とする。	若干名	地域の制限なし	教学支援部	併用可	条件有りでの併用可
	広島工業大学同窓会奨励金	随時		課外活動支援制度		広島工業大学同窓会奨励金(体育系・文化系各団体) 対象：本学の認めた体育系・文化系各団体 回数：年1回 広島工業大学同窓会奨励金(学術系各団体等) 対象：本学の工芸系・学術系各団体 回数：年1回	その他	広島工業大学同窓会奨励金 ①体育系団体 全学大会・日本大会出場(参加人数、試合日数に応じて奨励金が出ます。 その他の大会出場は、文化系団体の奨励金に準じます。 ②文化系各団体 1団体の1行事(大会)に要する費用に応じて、5,000～30,000円の範囲で 奨励金が出ます。 ※奨励額(2回申請の場合はその合計)の上限は100,000円とします。 広島工業大学同窓会奨励金(学術系各団体等) 工芸系において、学術費を出した場合にはかかる費用に 対して5,000～30,000円の範囲で奨励金が出ます。	随時	制なし	地域の制限なし	教学支援部	併用可	併用可
	広島工業大学後援会奨励金(体育系・文化系各団体)	随時		課外活動支援制度		運動会(対象：体育系・文化系各団体 回数：年2回) 条件：届出があった課外活動が対象 主要校奨励金(対象：体育系・文化系各団体 回数：無制限) 運動会(対象：体育系・文化系各団体 回数：年2回) 条件：届出があった課外活動が対象 主要校奨励金(対象：体育系・文化系各団体 回数：無制限) 条件：各大会・行事の主管校となった場合 特別奨励金(国内大会用)(対象：体育系・文化系各団体 回数：無制限) 条件：団体・全学大会に出場した場合 登録費・年会費奨励金(対象：体育系・文化系各団体 回数：年1回) 条件：活動するための各種団体(連盟・協会等)に登録費・年会費を支払った場合 施設使用奨励金(対象：文化系団体 回数：年3回) 条件：学外施設を使用した場合 遠征奨励金(対象：体育系各団体 回数：年2回) 条件：中国大会以上全国大会未満の大会に出場した場合 備品購入奨励金(対象：文化系各団体 回数：無制限) 条件：備品購入する際(個人・個人名義の購入は対象外) バス賃奨励金(対象：体育系・文化系各団体 回数：年2回) 条件：南大後以上に出場し、バスを賃借した場合 特別奨励金(国際大会用)(対象：体育系・文化系各団体及び個人 回数：年1回) 条件：スポンジ、文化交流の国際大会等に参加する場合 (本奨励金は奨励金の申請で承認された場合に限る)	その他	運動会 1回につき8,000円 主要校奨励金 1回につき17,000円 特別奨励金(国内大会用) 人数、試合日数に応じて奨励 登録費・年会費奨励金 人数、試合日数に応じて一部を奨励 施設使用奨励金 施設使用に応じて一部を奨励 遠征奨励金 人数、試合日数に応じて奨励 備品購入奨励金 備品購入金額に応じて一部を奨励 バス賃奨励金 回数、バス賃に応じて、一定の金額を上限として、 費用の半額を奨励 特別奨励金(国際大会用) 申請額に応じて一部を奨励 高額物品購入に係る奨励金 申請額に応じて一部を奨励	随時	制なし	地域の制限なし	教学支援部	併用可	併用可
	広島工業大学後援会自治会・体育会奨励金(自治会・体育会)	随時		課外活動支援制度		対象：自治会・体育会 回数：年1回	その他	600,000円	随時	なし	地域の制限なし	教学支援部	併用可	併用可
	広島工業大学後援会体育祭・工大祭奨励金(体育会・工大祭)	随時		課外活動支援制度		対象：体育会・工大祭実行委員会 回数：年1回	その他	各150,000円	随時	なし	地域の制限なし	教学支援部	併用可	併用可
	広島工業大学後援会奨励金	随時		研究費支援		学術等実務奨励金(対象：学部生 回数：無制限) 学術・学術研究(学術費を含む)で研究に成果を挙げた学部生で、関係学科の学長及び教員に推薦された者が対象	その他	1人当たり5,000円	随時	制なし	地域の制限なし	教学支援部	併用可	併用可
	学生が学業発表を行う場合の助成	随時		その他	学生の学業発表に係る旅費及び学業登録費を補助	対象：学部生、大学院生 条件：参加する学業のプログラム(シラビ)に、学生の氏名が記載され 口頭発表(ポスターセッションを含む)とする場合 または、当該学業又は当該発表が「学業発表」に準ずると認められる場合	その他	当該学業の登録費及び本学旅費精算に定める方法により算出した交通費並びに旅費	随時	制なし	地域の制限なし	経営管理部	併用可	併用可
	派遣留学奨励金	その他	出国前	留学費用支援制度		対象：学部生、大学院生 条件：次のすべてに該当し、本学の審査で決定した者 ・指定校への派遣留学期間が1年以上1年以内の者 ・派遣先がGPAが3.0以上の学部又は平均学点4.0以上の大学院生 ・TOEFL-ibt60、IELTS又はそれと同等レベルの英語能力を有する者 ・又は中国語検定試験合格又はそれと同等レベルの中国語能力を有する者 ・本学が公認する国際交流にかかわるボランティアの活動に参加している者	その他	・イリノイ大学(アメリカ)へ派遣留学する場合、1名あたり15万円及び旅費相当額(食費を除く) ・瀋陽航空航天大学(中国)へ派遣留学する場合、1名あたり15万円	帰国後	イリノイ大学(アメリカ)へ派遣留学する場合、最大9名 瀋陽航空航天大学(中国)へ派遣留学する場合、最大9名	地域の制限なし	教学支援部	併用不可	併用可
	本学卒業生の子に女子に関する減免制度	入学後		入学金・授業料減免		対象：本学卒業生の女子 ※減免を希望する者は、学費等減免に必要書類を添えて別に定める期間までに届出が必要である。	免除・減免	入学金の半額を免除する。	入学時のみ、6月ごろに支給	人数制限なし	地域の制限なし	教学支援部	併用可	併用可
	兄弟姉妹が本学にもとこ在学している者に関する減免制度	在学中		入学金・授業料減免		対象：兄弟姉妹が本学にもとこ在学(休学を除く)している者 ※減免を希望する者は、学費等減免に必要書類を添えて別に定める期間までに届出が必要である。	免除・減免	兄弟姉妹が本学にもとこ在学(休学を除く)している者のうち、1人を除く他のものについて、授業料及び施設設備費のそれぞれ半額を免除する。	前年度10月末日、後年度は10月末日	人数制限なし	地域の制限なし	教学支援部	併用可	併用可
	私費外国人留学生授業料減免	在学中	2年次以上	入学金・授業料減免		対象：留学生の在留資格を取得している2年次生で、所定の成績基準を満たし、経済的援助が必要と認められる者 条件：留学生の在留資格を取得している2年次生で、所定の成績基準を満たし、経済的援助が必要と認められる者 減免を希望する者は、所定の書類を別に定める期間までに教学支援部に提出しなければならない。	免除・減免	前年度末における当該年度GPA順位(以下「順位」という。)に応じて次のとおり取扱う。 ①順位がトップ5以内の場合には授業料及び施設設備費等のうち50万円を減免する ②順位がトップ6以内の場合には授業料及び施設設備費等のうち40万円を減免する	当該年度1年間とする。	人数制限なし	地域の制限なし	教学支援部	併用可	条件有りでの併用可
	自然災害による被災学生への経済的支援	随時		学費支援 入学金・授業料減免 被災者資金支援		対象者：災害救助法及び被災者支援法適用前附則に在任する学費負担者を有する在学生が(1)から(3)に該当する場合には、対象となります。 (1)学費負担者の死亡 (2)家庭の全壊(学費負担者所有家屋) (3)家庭の半壊(学費負担者所有家屋) 申請書類： (1)授業料減免申請書 (2)公的機関の発行した証明書(罹災証明書・市町村発行) (3)大規模自然災害(地震、台風、大雪およびその他災害)被災者支援申請書	免除・減免	減免額： (1)学費負担者の死亡…当該期分授業料及び施設設備費等の全額免除 (2)家庭の全壊(学費負担者所有家屋)…当該期分授業料及び施設設備費等の全額免除 (3)家庭の半壊(学費負担者所有家屋)…当該期分授業料及び施設設備費等の半額免除	当該期	制なし	地域の制限なし	教学支援部	併用可	併用可
	自然災害による被災学生への経済的支援(受験生・入学生)	随時		学費支援 入学金・授業料減免 被災者資金支援 その他	入学決定料減免	対象者：学費負担者が入学予定年月日から前1年以内(災害救助法または被災者支援法に適用された在任者で限り、次の(1)から(3)の何れかに該当する災害者及び入学生予定者 (1)学費負担者の死亡 (2)家庭の全壊(学費負担者所有家屋) (3)家庭の半壊(学費負担者所有家屋) 申請書類： (1)授業料減免申請書及び入学納入金免除申請書 (2)公的機関の発行した証明書(罹災証明書・市町村発行) (3)大規模自然災害(地震、台風、大雪およびその他災害)被災者支援申請書	免除・減免	減免額： (1)学費負担者の死亡…検定料全額免除並びに入学金、入学年度前期分の授業料及び施設設備費等の全額免除 (2)家庭の全壊(学費負担者所有家屋)…検定料全額免除並びに入学金、入学年度前期分の授業料及び施設設備費等の全額免除 (3)家庭の半壊(学費負担者所有家屋)…検定料全額免除並びに入学金、入学年度前期分の授業料及び施設設備費等の半額免除	入学時	制なし	地域の制限なし	教学支援部	併用可	併用可
	海外留学支援制度	在学中	出国前	留学費用支援制度		対象：学部生 条件： 海外研修支援：1年次生はTOEIC L&Rの受験(過去1年以内) 2年次生はTOEIC L&Rの受験に加え、本学の国際交流ボランティアへの参加 海外研修支援：推薦トップ学生かつTOEIC L&R 400以上得点取得 海外留学支援：2年次以上の推薦トップ学生かつTOEIC L&R 600以上相当取得 支給人数 海外研修支援：40人(前・後期 各20名ずつ) 海外研修支援：20人 海外留学支援：5人 ※海外研修支援は毎年度1回のみ ※海外研修支援及び海外留学支援は在学中に1回のみ ※1つの留学プログラムに対して、2つ以上の支援制度の併用は不可	その他	海外研修支援：最大5万円前額 海外研修支援：最大10万円前額 海外留学支援：最大30万円前額	帰国後	海外研修支援：前・後期 各20名 海外留学支援：5名	地域の制限なし	教学支援部	併用不可	併用可
	広島工業大学教育ローン利息支援制度	その他	当年度、発生した利息分を翌年度に申請	その他	提携教育ローンを利用する場合に発生する利息の一部を給付	提携教育ローン利用者で本学に在籍している者又は申請の前年度に卒業した者	その他	本学提携教育ローン利用時の利息のうち、年間5万円を上限として給付	7月頃	制なし	地域の制限なし	経営管理部	併用可	併用可
TOEIC受験支援	その他	TOEIC受験時	資格取得支援制度		学部生対象 TOEIC受験料を大学が全額負担 各年度に1回支援制度を利用可	その他		TOEIC受験時			地域の制限なし	教学支援部	併用可	併用可
SPI試験受験支援	在学中	SPI試験受験時	就職支援		主対象：学部3年次	その他	受験料を大学が負担(1,000円/回)	SPI試験受験時		人数制限なし	地域の制限なし	教学支援部	併用可	併用可
就職活動支援制度	その他		就職支援		学部3年次生(大学院1年次生)、学部4年次生(大学院2年次生)	その他	条件(★)を満たした場合 活動地域により 定額：2,000円、関東以西：10,000円 その他地域：5,000円を支援 (★)条件 ・社会的に有益な活動であること(支援は1回/人) ・事前の申請であること ・企業・自治体の承認が得られていること ・自宅前までの移動でなく、活動場所が広島県及び居住所以外の都道府県であること ・学内の就業支援センターに申し込みによる事前の承認が入っていること ・事後手続きを期間内に終えること	随時	制なし	地域の制限なし	教学支援部	併用可	併用可	

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
広島修道大学	広島修道大学在学生スカラシップ	その他	申請不要(2年生、3年生、4年生対象)	特待生・成績優秀者 学費支援	前年度の学業成績が優秀な学部学生		給付奨学金	年額10万円	1年間	171人	地域の制限なし	学生センター	併用可	併用可	
	広島修道大学課外活動スカラシップ	在学中	全年半	課外活動支援制度	学業、人物ともに優れており、特に文化活動、体育活動その他の課外活動又はこれに類する活動において顕著な実績を挙げた者で、当該年度に学費を支払った個人、または団体。		給付奨学金	団体3万円 個人10万円	1年間	人数制限なし	地域の制限なし	学生センター	併用可	併用可	
	広島修道大学資格取得スカラシップ	その他	毎年10月中旬から1月末	資格取得支援制度	学業、人物ともに優れ、特に難易度の高い資格取得者で、資格取得影響基金賞又は優秀賞を受賞している学部学生		給付奨学金	最優秀1名につき5万円、優秀賞1名につき3万円(2022年度実績)	1年間	最優秀30件、優秀賞30件	地域の制限なし	キャリアセンター	併用可	併用可	
	広島修道大学国際交流スカラシップ	その他	留学、セミナー、派遣プログラムの時期によって異なる。	留学費用支援制度	本学学期に在籍する正課生で、本学の海外協定校へ留学する者及び広島修道大学認定留学課程により外国の大学に留学を許可された者。		給付奨学金	交換留学学生 (6か月以上10万円、6か月未満)10万円 3か月以上の海外セミナー派遣学生及び認定留学学生 月額0万円 3か月未満の海外セミナー派遣学生 地域により9万円または10万円 N2選抜セミナー及びN2選抜セミナー派遣学生 40万円	月額により給付するものは留学期間中とする。ただし、留学開始月及び終了月はその月の合計により支給しない場合があります。	月額により給付するものは留学期間中とする。ただし、留学開始月及び終了月はその月の合計により支給しない場合があります。	地域の制限なし	国際センター	条件有り併用可	併用可	
	広島修道大学修学奨学金	在学中	全年半	学費支援 その他	経済的に修学が困難な学生のための奨学金	家計が急変し、経済的に修学が困難な学生のための奨学金。標準修業年限内に1年度のみ受け取ることが可能。ただし、以下の者は修学奨学金を兼ねることができない。 (1) 「大学等における修学の支援」に関する法律による授業料等の減免又は給付奨学金を受けている学生若しくは申請中の学生 (2) 本学非常勤職員学生で継続付金減免期間内の学生 (3) 本学同意奨学金学生(同一年度内) (4) 本学経済支援奨学金		給付奨学金	年額20万円	1年間	若干名	地域の制限なし	学生センター	併用不可	条件有り併用可
	広島修道大学同窓会奨学金	在学中	全年半	学費支援 その他	家計困難により学業の継続が困難な学生のための奨学金。標準修業年限内に1年度のみ受け取ることが可能。ただし、以下の者は同窓会奨学金を兼ねることができない。 (1) 「大学等における修学の支援」に関する法律による授業料等の減免又は給付奨学金を受けている学生若しくは申請中の学生 (2) 本学非常勤職員学生で継続付金減免期間内の学生 (3) 本学修学奨学金学生(同一年度内) (4) 本学経済支援奨学金		給付奨学金	年額20万円	1年間	毎年7名以内	地域の制限なし	学生センター	併用不可	条件有り併用可	
	広島修道大学経済支援奨学金	在学中	全年半	学費支援 その他	経済的に修学が困難な学生のための奨学金	家計困難により学業の継続が困難な学生のための奨学金。標準修業年限内に1年度のみ受け取ることが可能。ただし、以下の者は経済支援奨学金を兼ねることができない。 (1) 「大学等における修学の支援」に関する法律による授業料等の減免又は給付奨学金を受けている学生若しくは申請中の学生 (2) 本学非常勤職員学生で継続付金減免期間内の学生 (3) 本学同意奨学金学生(同一年度内) (4) 本学同意奨学金学生		給付奨学金	年額20万円	1年間	前期・後期 各10名	地域の制限なし	学生センター	併用不可	条件有り併用可
	広島修道大学非常勤職員学生に対する継続付金減免	随時		入学費・授業料減免 学費支援		主たる家計維持者が災害救助法適用地域において被災し継続付金の納入が難しく困難となった者。ただし、減免期間内は以下の奨学金の併用不可。 (1) 本学修学奨学金 (2) 本学同意奨学金 (3) 本学経済支援奨学金 (4) 本学短期特別奨学金	減免の対象となる期間並びに継続付金の種類及び額の決定は、災害発生時期、規模等を考慮し、大学運営会議の議を経て、学長がこれを行う。	減免の対象となる期間並びに継続付金の種類及び額の決定は、災害発生時期、規模等を考慮し、大学運営会議の議を経て、学長がこれを行う。		人数制限なし	地域の制限なし	学生センター	併用不可	条件有り併用可	
	広島修道大学短期特別奨学金	在学中	全年半	学費支援		経済的な事由により一時的に授業料等継続付金の納入が困難な学生で、以下の条件すべてに該当する者。 (1) 本学学費又は大学院に在学中の正課生学生 (2) 卒業後の短期特別奨学金がないこと (3) 期間内の返還が確保と認められること (4) 短期特別奨学金の返還期間が定められていること(前期又は後期の貸与をそれぞれ1回とする。) (5) 短期特別奨学金の返還期間を経たことがないこと。	授業料等継続付金相当額		2か月	人数制限なし	地域の制限なし	学生センター	併用可	条件有り併用可	
	課外活動助成金	在学中	全年半	課外活動支援制度		①団体加盟費用補助 サークルが負担する団体としての運営費や年会費を補助金として交付する。学外の競技大会等に参加するために各種団体に加盟することから、毎年定期的に支出する費用(個人を対象とした費用を除く)を対象とする。競走選手が男女別々に行われていると大学が判断するサークルは、別々のサークルとして扱われること。 ②公式大会参加補助 別定中心企画(および1回)につき合計40万円を上限とする。 ③用具等購入補助 1名あたり5万円以上の用具等の購入費用を対応。ただし、予算の範囲内で1回につき10万円以上を対象とすることがある。年1回1団体100万円を上限とする。 ④臨時の学外指導者招請補助 1サークル年間20万円を上限とする。		給付奨学金	①団体加盟費用補助 1団体につき10万円を上限とする。 ②公式大会参加補助 別定中心企画(および1回)につき合計40万円を上限とする。 ③用具等購入補助 1名あたり5万円以上の用具等の購入費用を対応。ただし、予算の範囲内で1回につき10万円以上を対象とすることがある。年1回1団体100万円を上限とする。 ④臨時の学外指導者招請補助 1サークル年間20万円を上限とする。	1年間	人数制限なし	地域の制限なし	学生センター	併用可	併用可
観劇活動に係る経済的支援	その他	4月-12月	観劇支援		観劇活動をする学生の支援として、高速バスやフリー、新幹線等の利用料金について、その金額又は一部を補助する制度。利用回数についてはバス・フリー・高速バス・フリーの乗車回数に制限がある。観劇活動が希望している学部学生・大学院生が企業が単独で行う観劇会・選考に参加する場合。	補助金額は提出された請求書をもとに決定し、行く先(地方)により上限額が異なり、3,000円から5,000円を上限とする。金額が上限に達しない場合は、実費で支給する。	4月-12月	270名(2022年度実績)	地域の制限なし	キャリアセンター	併用可	併用可			
各種検定試験受検補助	その他	各種検定試験の実施時期によって異なる。	資格取得支援制度		所属する学部・学科・専攻により、TOEIC-IP、TOEIC Bridge、TOEFL-IP、TOEFL-IBT、IELTS、自衛隊検定、心理検定、Excel検算資格検定試験、日商PC検定1級、ビジネス実務検定試験、漢検検定試験、経済検定試験、情報検定試験、情報検定試験(ITスキル)、情報セキュリティマネジメント試験、基本情報検定、応用情報検定、ソフトウェア検定試験、応用情報検定試験(情報検定)1級、AWS Certified Cloud Practitioner、CompTIA IT Fundamentals、Cisco CCENT、Cisco CCNA、euc検定、3R-低炭素社会検定などの資格取得について受験料を補助(2023年度予定)。	検定料の全額補助 TOEIC-IP、Excel検算資格検定試験、日商PC検定1級、ERE経済学検定試験、情報検定検定試験(ITスキル)、情報セキュリティマネジメント試験、基本情報検定、応用情報検定、ソフトウェア検定試験、情報検定試験(情報検定)1級、AWS Certified Cloud Practitioner、CompTIA IT Fundamentals、Cisco CCENT、Cisco CCNA 検定料の9割補助 TOEFL-IBT、IELTS、CompTIA IT Fundamentals、Cisco CCENT、Cisco CCNA 検定料の半額補助 心理検定、ビジネス実務検定試験、法學検定試験 上限1,000円補助 ITエンジニア検定試験2級、知的財産資格検定(管理業務)3級、AWS Certified Cloud Practitioner 5,000円補助 日商簿記検定1級 3,000円補助 日商簿記検定2級 研修費額より超過 euc検定、3R-低炭素社会検定(2023年度予定)	検定料の半額補助 心理検定、ビジネス実務検定試験、法學検定試験 上限1,000円補助 ITエンジニア検定試験2級、知的財産資格検定(管理業務)3級、AWS Certified Cloud Practitioner 5,000円補助 日商簿記検定1級 3,000円補助 日商簿記検定2級 研修費額より超過 euc検定、3R-低炭素社会検定(2023年度予定)	各種検定試験により異なる	地域の制限なし	教養センター・総務課	併用可	併用可			
広島女学院大学	広島女学院大学・同大学院賞与奨学金	在学中		学費支援	学部全年半対象。各学年5名以内。入学式前学期試験科目合格を以て。 【条件】 1. 学業、人物と優秀であること 2. 経済上、学費援助を要すること 3. 健康であること 4. 日本学生支援機構を含む他の奨学金を受けていないこと		貸与奨学金	入学年度前期授業料相当額(390,000円～405,000円)		当該年度1年度のみ	各学年5名以内	地域の制限なし	学生課	併用不可	
	広島女学院大学賞与特別奨学金	在学中		学費支援	学部全年半対象。若干名。 継続付金相当額を以て。他奨学金と併用可。 【条件】 家計支持者の死亡・疾病・家業継承、事故、火災・災害などにより家計が急変し、学業継続が困難な者		貸与奨学金	継続付金相当額(1,060,000円～1,980,000円)		当該年度のみ(基本)	対象の事象が発生したもののみ	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	広島女学院大学特待生(給付特別奨学金)	学校出願時		特待生・成績優秀者	入学時に決定。前期中程通過 特待生入試に合格した者で各学科から2名まで採用。 1年次は授業料年間相当額を給付。2年次以降は授業料の20%を減免。 2年次以降は前年度GPAが3.0未満だと資格を喪失する。		免除・減免	1年次: 授業料年間相当額を給付(180,000円～810,000円) 2年次以降: 授業料の20%を減免(156,000円～162,000円)		地域の制限なし	入試課	併用可	併用可		
	広島女学院大学大学入学共通テスト利用入試成績優秀者優遇制度	学校出願時		特待生・成績優秀者	入学時に決定。前期4年間適用。 大学入学共通テスト利用入試に合格した者で各学科の条件を満たした者を採用。 1年次授業料の50%を減免。2年次以降は20%減免。入学入試時の入学免除。 2年次以降は前年度GPAが3.0未満だと資格を喪失する。		免除・減免	1年次: 授業料の50%を減免(390,000円～405,000円) 2年次以降: 授業料の20%を減免(156,000円～162,000円)		原則1年。2年次以降は成績等による継続審査あり。	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可	
	広島女学院大学国際英語科GSEコース選択学生特待生	入学手続時		特待生・成績優秀者	入学時に決定。前期4年間適用。 国際英語科の合格者のうちGSEコースを選択した者を採用。 授業料の20%を減免。 2年次以降は定めた英語能力試験の結果基準を満たす必要がある。 また、前年度GPAが3.0未満だと資格を喪失する(留意事項あり)。		免除・減免	授業料の20%を減免(156,000円)		地域の制限なし	入試課	併用可	併用可		
	広島女学院大学冲縄県出身者対象納入金減免	入学手続時		特待生・成績優秀者	入学時に決定。前期4年間適用。 沖縄県内の高校を卒業し、本学に入学する者を採用。 授業料の20%を減免。 2年次以降は前年度GPAが3.0未満だと資格を喪失する。		免除・減免	授業料の20%を減免(156,000円)		地域の制限なし	入試課	併用可	併用可		
	広島女学院大学在籍留学期間	学校出願時		留学費用支援制度	学生が在籍留学期間認定留学をする場合申請可。 授業料年間相当額又は50%相当額を給付。		給付奨学金	授業料年間相当額又は50%相当額 (780,000円又は390,000円、管理栄養学科は810,000円又は405,000円)		広島県	国際交流センター				
	広島女学院大学外国語能力試験受験料給付制度	学校出願時		資格取得支援制度		学部全年半対象。学内外において各種外国語の検定試験を受験した学生に当該試験の受験料相当額を支給する。複数回申請可。 【該当する検定試験】 ・TOEIC、TOEFL、IELTS、実用英語検定試験(実検) ・国際連合公用語実用検定試験(国連実検) ・ドイツ語検定試験(独検)・実用フランス語検定試験(仏検) ・実用中国語検定試験(実用中検)・中国語検定試験(中検) ・ハンガリー能力検定試験(ハン検)・韓国語能力検定試験(韓検) ・その他 申請した同一試験を2回以上受験した場合は、点数上昇など条件がある。		給付奨学金	各種外国語の検定試験の受験料相当額		広島県	国際交流センター			
	指定校制推薦入試スカラシップ制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 学費支援		指定校制推薦入試の合格者のうち、調査書の評定平均値が4.3以上の成績を収めたものを全員。1年次の授業料を全額免除。2年次以降は授業料を20%減免。		免除・減免	1年次: 授業料年間相当額を給付(780,000円～810,000円) 2年次以降: 授業料の20%を減免(156,000円～162,000円)		原則1年。2年次以降は成績等による継続審査あり。	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可
	公募制推薦入試スカラシップ制度	入学手続時		特待生・成績優秀者 学費支援		公募制推薦入試における成績優秀者。各学科各方式につき2名程度。評定平均値などの出願要件はなし。入学金を180,000円減免。さらに授業料を1年次50%減免。2年次以降は20%減免。専断制・前断制ともに対象。		免除・減免	1年次: 授業料の50%を減免(390,000円～405,000円) 2年次以降: 授業料の20%を減免(156,000円～162,000円)		原則1年。2年次以降は成績等による継続審査あり。	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可
広島女学院大学高大連携協定校特別推薦入試授業料減免制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		高大連携協定校特別推薦入試における成績優秀者		免除・減免	1年次: 授業料相当額を全額免除 2年次以降: 授業料より20%減免		1年生～4年生までの学部生 次の各号の一に該当する場合は、その資格を喪失する。 (1) 前年度の成績が GPA 3.0未満のとき (2) 留学期間が満了して1年を経過したとき (3) 学部による専断処分を受けたとき (4) その他特待生として選出されていない場合のとき	広島県	入試課	併用可	併用可	
広島女学院大学高大連携協定校一貫教育奨励制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		【対象者】 本院の教育方針に賛同し、高大連携協定校から志願して広島女学院大学に入学する者に対しては、多くの優秀な人材を世に出さるべく高大連携一貫教育を推進すること。保護者の経済的負担を少しでも軽減しようとするものである。 【対象学年】 指定一貫生までの学部生		免除・減免	年間授業料より20%減免		1年生～4年生	人数制限なし	広島県	入試課	併用可	併用可
ゼーンズ奨学金	在学中	3年生～4年生		学費支援	広島女学院大学3～4年次に在学中し、経済的理由から学業継続が難しく困難となったため、授業の見込みのある者に給付する(ただし、前3年次編入生は対象外)。		給付奨学金	1名につき20万円。		決定された当該年度とし、再出願することはない。	最大4名に給付。	地域の制限なし	総合学生支援センター・学生課	併用可	併用可
広島女学院大学同メソッド教会女性局給付奨学金	在学中			学費支援	(1) 経済的理由のための修学が困難な者 (2) キリスト教活動に関与している者。あるいはキリスト教活動に理解のある者 (3) 他の給付奨学金を受けていない者		給付奨学金	各年度の寄付金の総額を限度とする。		特に無し	最大5名	地域の制限なし	総合学生支援センター・学生課	併用不可	併用可

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
広島文教大学	探検系等特許金優遇措置	入学後		その他	(1)～(4)入学金額4分の1相当額を入学後に給付 4月末までに申請	1年生 全学部対象 (1)各校(附属高校、大学、大学院)に、兄弟姉妹が在学するときの、2人目以降の対象者 (2)附属高校、大学の卒業生が上記校に入学するとき (3)附属高校、大学、大学院等に本校生が在学していた学校の卒業生の子及び兄弟姉妹が各校(附属高校、大学、大学院)に入学するとき (4)社会人特別選抜(社会人編入選抜)入学者 各専攻系長が推薦する者(推薦書、推薦状、本人及び大学院 優遇措置を受けることができない者は次のとおりとする (1)「スポーツ芸術文化活動特待制度」の対象者 (2)「武田千代記念基金奨学金」の給付対象者	その他		入学時のみ	上限なし	地域の制限なし	学生サポート課	併用可	併用不可	
	成績優秀者奨学制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 学費支援	1年生 全学部対象 入学者成績の高い次元で達成しようとする意欲が旺盛で、対象入学試験において優秀な成績で入学した者。 一級選抜(前期日程・前期A日程・前期B日程)、大学入学共通テスト利用選抜(前期)出願時に本制(エントリー)し、合格した者及び併合型選抜又は学校推薦型選抜合格者で、一般選抜(前期)日程の出願時に本制(エントリー)し、合格し(前期)のいずれかの入学試験を受験した者とする。	免除・減免	授業料・教育費特待費4分の1免除	1年次の1年間	30名		地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用不可	
	人間福祉学部特別奨学制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 学費支援 奨励金優待制度	1年生 人間科学部 福祉学科 入学者成績の高い次元で達成しようとする意欲が旺盛で、(1)2つの条件を満たして入学した者。 (1)中国・中国語・九州地方に所属する文科系専攻の定員外特待選抜奨学生等(定員外特待選抜奨学生)を卒業し、介護福祉士国家試験受験資格を有する者。 (2)学校推薦型選抜(指定校推薦)(前期・後期)で、出願時に本制(エントリー)し、合格した者。 ※成績により順次繰越の可否を各専攻長が判断する。	免除・減免	在学中の授業料及び教育費特待費の半額を免除	4年間(継続審査あり)	若干名		地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用不可	
	スポーツ・芸術文化活動特待制度	学校出願時		課外活動支援制度 その他	1年生 全学部対象 入学者成績の高い次元で達成しようとする意欲が旺盛で、かつ、本学入学前のスポーツ・芸術文化活動において特に優れた能力と実績を持った者。(1)及び(2)に該当する者。 (1)学校推薦型選抜(指定校推薦(スポーツ・芸術文化活動特待型))(前期・後期)入学試験出願時に本制(エントリー)し、合格した者。 (2)スポーツ活動においては第1次大会ベスト4以上、芸術文化活動においては県大会賞以上(に相当する実績を有し、かつ、入学後も当該活動を継続する意思がある者。 対象となる種目は、スポーツ活動では卓球、バスケ、バレーボール、バレーボール及びサッカーの4種目、芸術文化活動では吹奏楽及び和太鼓の2種目とする。	入学金相当額							入試広報課	併用可	併用不可
	奨学支援制度	その他	入学手続き時	奨励制度	1年生(女子)全員 全学部対象	免除・減免	学生生活費(実質)相当額	入寮期間中		奨学生全員		地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可
	入寮費給付制度	入学手続き時		奨励制度	1年生 全学部対象 (1)学校推薦型選抜(指定校推薦)で入学し、学生寮「厚島寮」に入寮した者 (2)沖島出身で入学し、学生寮「厚島寮」に入寮した者 (※沖島出身の者は、すべての入学試験の対象)	免除・減免	入寮費 60,000円	入寮時のみ		上限なし	沖島課	入試広報課	併用可	併用可	
	武田千代記念奨学金	在学中	全学年 4月	特待生・成績優秀者 学費支援	1～4年生 全学部対象 1)本学園に留学を希望する生徒、学生、本学園から外国に留学を希望する生徒、学生 2)本学園に在学する生徒、学生、人物ともに優秀であり、経済上学費補助を要する者	給付奨学金	2万円/月	1年間		6名		地域の制限なし	学生サポート課	併用可	併用不可
	美術奨励学金	在学中	2年次のみ	特待生・成績優秀者 学費支援	1)本学に在学し、学業、人物ともに優秀であり、経済上学費補助を要する学生 2)対象者は、2年生とし、1年次の成績を参考に選考	給付奨学金	2万円/月	1年間		若干名		地域の制限なし	同窓会美術会	併用可	併用不可
	教育ローン利息補給制度	在学中	全学年	学費支援	1～4年生 全学部 本学が指定する金融機関で教育ローンの借入れをした者で、本学に在籍している期間とし、最長4年間	その他		在学中 年1回	上限なし			地域の制限なし	学生サポート課	併用可	併用可
	授業料等の納付金の減免	随時		学費支援 入学金・授業料減免 奨励金優待制度	1～4年生 全学部 大学の学部又は大学院を受験し、入学する者及び在籍している者で、災害により学費の支弁が困難である者	免除・減免	納付金の50%から100%範囲	在学中 1年間	上限なし			地域の制限なし	学生サポート課	併用可	併用不可
特別奨学金貸付	在学中	全学年	学費支援 用途が広い(経済的支援 奨励金優待制度)	1～4年生 全学部 人物、学力ともに優れた者で、災害その他緊急の事情の急なため学費が困難となった者	貸付奨学金		在学中 1年間	上限なし			地域の制限なし	学生サポート課	併用可	併用可	
課外に留学する学生の授業料免除	在学中	全学年 留学のために出席する30日前まで	留学費用支援制度 入学金・授業料減免	1～4年生 全学部 留学先が本学と同等以上の水準の大学に在学する本学学生	免除・減免		在学中 1回限り	上限なし			地域の制限なし	学生サポート課	併用可	併用不可	
留学経費補助	在学中	全学年 留学申請時	特待生・成績優秀者 学費支援 留学費用支援制度	1～4年生 全学部 留学先が本学と同等以上の水準の大学に在学する本学学生	給付奨学金	1区分 上限40万円 2区分 上限20万円 3区分 上限10万円	在学中 1回限り	上限なし			地域の制限なし	学生サポート課	併用可	併用可	
私費外国人留学生授業料減免	その他	全学年 減免を受けようとする年度の前年度の3月31日まで	特待生・成績優秀者 学費支援 留学費用支援制度 入学金・授業料減免	1～4年生 全学部 学費が本学の正規の正規の課程(研究生及び科目履修生は除く。)に在籍する者又は入学予定者が経済的理由により、授業料の納入が困難であり、学業優秀と認められる者。次の各号のいずれかに該当する者は、減免を受けることができる。 (1)留学先が本学と同等以上の水準の大学に在学する本学学生 (2)留学先が本学と同等以上の水準の大学に在学する本学学生 (3)本学に在学する者	免除・減免	授業料の減免率は、2分の1又は半額(教育費特待費は含まない)	1年間	上限なし			地域の制限なし	学生サポート課	併用可	併用可	
福山平成大学	特別奨学生A	その他	申請なし	入学金・授業料減免	1)一般選抜(前期日程)、一般選抜(前期A日程・前期B日程・後期日程)、大学入学共通テスト利用選抜(前期・後期)の合格者で、入学試験の成績優秀者として入学する者	免除・減免	入学年次の授業料について40%減免				地域の制限なし	入試室	併用可	併用可	
	特別奨学生B	その他	申請なし	入学金・授業料減免	指定校推薦型選抜の合格者、及び経営学部指定校(資格取得者)推薦型選抜の合格者	免除・減免	入学金を15万円に減額するとともに入学年次の授業料について、経営学部と福祉健康学部において40%を、看護学部においては30%減免				地域の制限なし	入試室	併用可	併用可	
	一般奨学生	その他	申請なし	特待生・成績優秀者	入学後、2年次以上の者における前年度の学業成績優秀者のうち、毎年若干名を選考する。	免除・減免	当該年度の授業料のうち、30万円を減免。				地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
安田女子大学	教育ローン利息補給奨学金制度	その他	詳細は合格者に別途通知します。	学費支援	指定校推薦型選抜(特) 日本政策投資銀行(特) 広島県銀行、広島市信用組合、(特) オリエントコーポレーションの教育ローンを利用して、額目まで(授業料・施設設備費・雑費)の合計、本学が指定する金融機関で教育ローンの借入れをした者で、本学に在籍している期間に在籍する本学学生 指定校推薦型選抜(特) 本学が奨学として学生(保護者に)継続する制度。	給付奨学金	前年度(卒業生のみ)の当年年度にかかった利息額のうち、指定金融機関の利息支払証明書等の提出に基づき、本学が定める利率の上限範囲内で給付額を決定する。				地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	奨学部特待生制度<奨学特待生>	その他		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	1)特待生制度として、大学入学共通テスト利用選抜(奨学部系特待生選抜)を実施する。 2)大学入学共通テストにおいて、本学が指定する科目の合計得点率が75%以上の者から、成績上位20名までを特待生として認定し、入学後6年間の授業料を減額する。 (入学料、施設設備費、雑費等は別途必要)。 入学後は、学業上および学業以外において、毎年定まる成績が本学の定める基準(上位50%以内)を満たす必要がある。 ※基準を満たさない場合は、次年度から奨学部奨学生(奨学/ハイスポート)に移行する。	免除・減免	授業料164万円(全額)免除×6年				地域の制限なし	大学事務課入試広報課	併用可	併用可	
	奨学部奨学制度<奨学/ハイスポート>	その他		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	1)一般選抜(前期A・B日程)の入試成績上位60名および大学入学共通テスト利用選抜(前期日程)の成績上位40名を奨学部奨学生とし、奨学生の入学後6年間の授業料を、学費が指定する金融機関で教育ローンの借入れをした者から、成績上位30名以内(入学後1年間は50%以内)とする。(入学料、施設設備費、雑費等は別途必要)。 入学後は、学業上および学業以外において、毎年定まる成績が本学の定める基準(上位50%以内)を満たす必要がある。 ※基準を満たさない場合は、次年度から奨学部奨学生(奨学/ハイスポート)の資格を失う。 1)年度別の成績により、2年次の資格を失うことはない。	免除・減免	1)自宅から通学の場合:34万円の授業料免除×6年 2)自宅外から通学の場合:114万円の授業料免除×6年					地域の制限なし	大学事務課入試広報課	併用可	併用可
広島国際大学	特待生選抜	入学手続き時		特待生・成績優秀者	【奨学部以外】 ①一般選抜前期日程を受験した者のうち、第1志望とする科目・専攻において、2科目の合計点の上位者、かつ合計点の得点率が75%以上の者。 【奨学部特待生1型】 ②一般選抜前期日程において奨学部第1志望とする科目の合計点の得点率が80%以上で、成績上位50名以内を認定。 【奨学部特待生2型】 ③一般選抜前期日程において奨学部第1志望とする科目の合計点の得点率が75%以上で、成績上位35名以内から得点順に認定。 【奨学部特待生3型】 ④一般選抜前期日程において奨学部第1志望とする科目の合計点の得点率が75%以上で、特待生1型・2型認定者を除き成績上位20名以内から得点順に入選認定。	免除・減免	学部(単位別)免除額 ①健康医学部 1年次160,000円、2年次15,000円 合計175,000円 総合文化コミュニケーション学部 1年次160,000円、2年次15,000円 合計175,000円 健康スポーツ学部 1年次560,000円、2年次81,000円 合計1,175,000円 健康科学部 心理学科、医療保健学科、社会学科 1年次540,000円、2年次590,000円 合計1,130,000円 健康科学部 健康実習学科 1年次560,000円、2年次15,000円 合計1,175,000円 健康科学部 健康実習学科 1年次160,000円、2年次15,000円 合計175,000円 奨学部 2)奨学部特待生1型(入学後6年間)合計1,620,000円 ③奨学部特待生2型(入学後6年間)合計1,830,000円 ④奨学部特待生3型(入学後6年間)合計1,830,000円 ※免除金額は、入学年度や学部によって異なります。	入学後2年間(1学年末に1学期の学業状況とともに入寮をしますが、特に困難な場合は、2学期も特待生として継続します。) 2)入学後4年間(入学後の入学後4年間の入学後の学業状況とともに入寮をしますが、特に困難な場合は、2学期も特待生として継続します。) 3)入学後6年間(入学後の入学後6年間の入学後の学業状況とともに入寮をしますが、特に困難な場合は、2学期も特待生として継続します。) 4)入学後8年間(入学後の入学後8年間の入学後の学業状況とともに入寮をしますが、特に困難な場合は、2学期も特待生として継続します。)	1)入学後2年間 2)1回限り 5人以内 3)1年間 4)1回限り 5人以内 5)1年間 6)1回限り 5人以内	地域の制限なし	入試センター	併用可	併用可		
	2024年度以降入学者適用 広島国際大学学内奨学金	在学中	全学年	学費支援	学業成績があり、最短期卒業で卒業できる見込みがある者で、日本学生支援機構等の奨学奨励学生であり、かつ経済的に就学困難と認められる学生。なお、学外奨励金などの給付を受けている学生は除く。	給付奨学金	一律20,000円	支給期間:1年間 支給方法:一括給付	年度初めに決定		地域の制限なし	教育・学生支援機構 学生課	併用不可	条件有り併用可	
	2024年度以降入学者適用 広島国際大学学内創立50周年記念奨学金	在学中	2年次以上	特待生・成績優秀者	2年次以上に在学し、学業・人物ともに優秀であると認められる学生。	給付奨学金	年度初めに決定	支給期間:1年間 支給方法:一括給付	年度初めに決定		地域の制限なし	教育・学生支援機構 学生課	併用可	条件有り併用可	
	学費減免	在学中	全学年	学費支援	つぎの各号のいずれかに該当し、学業成績が優れている者に対しては、その年度の発生した直後の学費の半額または全額を減免することができる。 イ 学費支援者が、死亡または重度の心身障害者となり、他に支弁者がいない者 ロ 住居が被災し、経済的に困難している者 ハ 家業が被災または学費支弁者の喪に當りて、その喪に當り経済的に深刻困難している者	免除・減免	罹りの発生した直後の授業料に教育充実費を加えた額の半額または全額を減免					地域の制限なし	教育・学生支援機構 学生課	併用可	条件有り併用可
	広島国際大学教育ローン金利助成奨学金	在学中	全学年	その他	指定金融機関に提携する教育ローンの金利助成	給付奨学金	申請年度に支払う教育ローン金利の内、申請年度の授業料に教育充実費を加えた額の3%を上限として給付。	申請年度に1年間 支給方法:一括給付	年度初めに決定			地域の制限なし	教育・学生支援機構 学生課	併用可	条件有り併用可
	広島国際大学サポーターズ奨学金	在学中	2年次以上	学費支援	学業成績があり、最短期卒業で卒業できる見込みがある者で、日本学生支援機構や地方公共団体等の奨学奨励学生であり、経済的に就学困難と認められる学生。	給付奨学金	年度初めに決定	支給期間:1年間 支給方法:一括給付	年度初めに決定			地域の制限なし	教育・学生支援機構 学生課	併用可	条件有り併用可
	広島国際大学学内創立100周年記念奨学金	在学中	2年次以上	学費支援	学業成績があり、最短期卒業で卒業できる見込みがある者で、日本学生支援機構や地方公共団体等の奨学奨励学生であり、経済的に就学困難と認められる学生。	給付奨学金	年度初めに決定	支給期間:1年間 支給方法:一括給付	年度初めに決定			地域の制限なし	教育・学生支援機構 学生課	併用可	条件有り併用可
	日本赤十字広島看護大学	特待生A	学校出願時		特待生・成績優秀者	1)一般選抜合格者及び大学入学共通テスト利用選抜(前期)の合格者の成績優秀者上位5人以内の者	免除・減免	免除額:年間50万円	1)1年間 2)1回限り		5人以内	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可
		特待生B	入学後		特待生・成績優秀者	入学後の各年度の成績優秀者(編入学生を除く)のうち、前年度の留学期間が標準額を超え、かつ学業成績が上位5人以内の者(各学年)	免除・減免	免除額:年間50万円	1年間		15名(1～3年各5名)	地域の制限なし	教育学生課	併用可	併用可
	広島都市学園大学	チャレンジ奨学生S特待生	その他	対象となる入試区分の入試結果により大学が選考	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	大学入学共通テスト利用入学試験前期を受験し合格した者の内、下記の条件を満たす者 総合文化コミュニケーション学部において英語(英検2級相当)・数学・数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Bの内の高得点の1科目(英語の内、高得点の教科の平均得点率) ※該当者が採用人数を超えた場合は、得点率の高い者が採用となります。 ※一般選抜奨学生S特待生、学校推薦型選抜奨学生、特別奨学生との併用はできません。	免除・減免	健康科学部65万円 子ども教育学部30万円	1)1年間1回限り 2)2年次以降も前年度の成績が基準を超過し、専攻の上位10%以内であれば授業料の半額を免除		S特待生とA特待生を併せて各学部10名程度	地域の制限なし	入試・広報課	併用可	併用可
チャレンジ奨学生A特待生		その他	入試成績により大学が選考	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	大学入学共通テスト利用前期を受験し合格した者の内、下記の条件を満たす者 総合文化コミュニケーション学部において英語(英検2級相当)・数学・数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Bの内の高得点の1科目(英語の内、高得点の教科の平均得点率) ※該当者が採用人数を超えた場合は、得点率の高い者が採用となります。 ※一般選抜奨学生S特待生、学校推薦型選抜奨学生、特別奨学生との併用はできません。	免除・減免	健康科学部32万円 子ども教育学部30万円	1)1年間1回限り 2)2年次以降も前年度の成績が基準を超過し、専攻の上位20%以内であれば授業料の4分の1を免除		S特待生とA特待生を併せてC10名程度	地域の制限なし	入試・広報課	併用可	併用可	
一般選抜奨学生S特待生		その他	入試成績により大学が選考	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	一般選抜前期日程で、(1)①(2)または(3)のいずれかの条件を満たし、かつ、(4)の条件を満たす者 ※学校推薦型選抜奨学生、特別奨学生との併用はできません。	免除・減免	健康科学部65万円 子ども教育学部30万円	1)1年間1回限り 2)2年次以降も前年度の成績が基準を超過し、専攻の上位10%以内であれば授業料の半額を免除		全学部併せて若干名	地域の制限なし	入試・広報課	併用可	併用可	
学校推薦型選抜奨学生		学校出願時		入学金・授業料減免	対象となる学校推薦型入学試験を受験し合格した者 ※子ども教育学部子ども教育科のみ	免除・減免	入学金全額免除20万円					地域の制限なし	入試・広報課	併用可	併用可
特別奨学生		学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	総合文化コミュニケーション学部を受験し合格した者の内、試験の成績・提出書類等が総合的に優ると認められる者 学校推薦型選抜入学試験(前期)を受験し合格した者の内、試験の成績・提出書類等が総合的に優秀と認められる者 いずれ子ども教育学部子ども教育科のみ	免除・減免	入学金全額免除20万円			若干名		地域の制限なし	入試・広報課	併用可	併用可
古沢学園後援制度		入学後		入学金・授業料減免	本人が本学園の卒業生または卒業見込みの者 本人の(現職)専業主婦(専業主夫)である場合は、在籍していた(したが、専業主婦(専業主夫)の専業主業を離れることにより、入学後の申請に不利となる。 ※子ども教育学部の学校推薦型選抜奨学生、特別奨学生との併用はできません。	免除・減免	入学金全額給付 健康科学部20万円 子ども教育学部30万円	1)1回限り				地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
学費減免制度		随時		入学金・授業料減免 その他	対象者は、専攻意欲があると認められる本学に在籍する学生で、次のいずれかに該当する者です。 ○学費理由(保護者等)の死亡、保護者により、学費の納入及び学生生活が困難になった者 ○災害により、学費負担者(保護者等)の住居等が滅失または毀損し、学費の納入及び学生生活が困難になった者 ○その他の事情により、学費の納入及び学生生活が困難になった者	免除・減免	学納金から、各年度の学費の二分之一の相当する額を上限として減免する。 減免期日は1学期間とし、再申請により前年度に2学期間の減免を受けることができます。					地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
東亜大学	卒業生の子または在学生の兄弟姉妹に対する入学金減免制度	入学手続き時		入学金・授業料減免	東亜大学の卒業生の子、または在学生の兄弟姉妹が入学を許可された場合、学費負担者の経済的な負担軽減を図るため、入学金減免制度を設けています。	免除・減免	入学金の三分の一を減免します。減免率80,000円	入学時		若干名	地域の制限なし	広報・入試室	併用可	併用可	



大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
四国学院大学	指定校S特待生奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者		1年生で全学部対象 学校推薦型選抜(指定校S)に合格し、優秀な成績を修めた学生で、経済的に修学困難である者	給付奨学金	1年間75000円(授業料全額相当額) 2年間150000円(授業料半額相当額)	1年間	1年間10名程度 2人数制限なし	地域の制限なし		併用可	併用可	
	予約型奨励奨学金	学校出願時		用途を定めない経済的支援		1年生～4年生の全学部生対象 本学を第一志望とし(大学院、編入は除く)、経済的に修学困難な者。 2年次以降は経済状況及び成績により継続審査する。 主たる養育費(父・母のうち収入が多い方、父がいない場合は父の代わりに養育を支えている方)の最終の所得証明書類の収入・所得が以下に該当する者。 -総年、年収(課税前)：500万円以下 -その他、事業所得金額：200万円以下	給付奨学金	年間200,000円	原則4年間支給	135名 2名以上に達した場合は、募集を行わない。	地域の制限なし		併用不可	条件有り併用可	
	スポーツおよび文化芸術活動特別奨励奨学金	学校出願時		課外活動支援制度		1年生～4年生までの全学部対象 本学のスポーツおよび文化芸術活動を強化して活性化することを目的として奨学金を支給する。 成績状況により2年次以降も継続採用可能。	給付奨学金	129000円(入学金相当額) 2年間75000円(授業料全額相当額) 3年間375000円(授業料半額相当額) 4年間187500円(授業料1/4相当額)	1)入学時に支給 2)～4年間で支給		地域の制限なし		併用可	併用可	
	舞台芸術特別奨励奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者		1年生～4年生で舞台芸術(身体表現芸術系ジャンル)を専攻とする者 本学を第一志望とし、舞台芸術(身体表現芸術系ジャンル)を専攻的に学ぶ強い意欲を有する者。 本学教員による選考によって選抜される。 成績状況により2年次以降も継続採用可能。	給付奨学金	175000円(授業料全額相当額) 2375000円(授業料半額相当額)	4年間支給	6名程度	地域の制限なし		併用可	併用不可	
	特別推薦奨励奨学金	学校出願時		入学金・授業料免除		1年生で全学部対象 特別推薦(推薦特別奨励出身者、推薦別少数者、身体障害者、キリスト教、文化の多様性)で入学した者。	給付奨学金	290,000円(入学金相当額)	入学時に支給		地域の制限なし		併用可	併用可	
	協定校奨学金	学校出願時		入学金・授業料免除		1年～4年生の全学部対象 協定校から入学し、協定校校長の推薦のあった者。成績状況により2年次以降も継続採用可能	給付奨学金	1750000円(授業料全額相当額) 2375000円(授業料半額相当額)	原則4年間		地域の制限なし		併用可	併用可	
	学費免除	在学中	全学年	入学金・授業料免除		全学年、全学部対象 出願募集の1年以内に突発的な事情(主たる養育費の死亡、創傷、障害等)により経済的困難が生じ、学業に支援をきたした者	免除・減免	本人が当該年度分として納付する授業料の一部を減額免除	授業料請求時		地域の制限なし		併用可	併用可	
	留学補助	在学中	留学期	入学金・授業料免除		2年生以上 姉妹校協定に基づき留学が許可された学生	給付奨学金	学費相当額	留学期中		地域の制限なし		併用可	併用可	
	入学免除	学校出願時		入学金・授業料免除		1年全学部対象 ①四国学院同窓会が同窓生本人・本人の父母・子・兄弟姉妹・祖父母・孫と認定した者 ②兄弟姉妹が本学に在籍して、受験生本人が入学する場合 ③協定校の卒業生 ④高大連携協定姉妹校の卒業生	免除・減免	290,000円(入学金相当額)	入学時		地域の制限なし		併用不可	併用可	
	社会福祉士・精神保健福祉士国家試験奨励金	在学中	4年生		資格取得支援制度		4年生で社会福祉学部対象 社会福祉士・精神保健福祉士国家試験の受験に取り組む学生を対象として、成績及び生活態度が優れている者	給付奨学金	【社会福祉士国家試験受験コース】 ①1,000円 ②3,000円 ③18,000円 【精神保健福祉士国家試験受験コース】 ①5,000円 ②50,000円 ③18,000円	1回		地域の制限なし		併用可	併用可
聖カタリナ大学	学園奨学生	学校出願時		入学金・授業料免除		総合選抜、指定校推薦選抜(前期)の受験者(対象学部：社会福祉学科、人間社会学科、健康スポーツ学科)のうち、 ①経済的理由により入学が困難であること。 ②向上心の強い人物であること。 ③本学の教育方針に合い、本学学生の規範となる人物であること。 ④人物、学業共に優秀で志望堅固であること。 ⑤健康状態良好で高等専門学校に入学が望ましい者及び本人の学力が優れていること、入学後もその意欲が持続する者 ⑥高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者に限る。 また、高等学校の学習成績の状況(評定平均値)が4.0以上で、両親の収入合計が800万円以下の者 ※(他)日本学生支援機構給付奨学金との併用不可	免除・減免	授業料の100%を給付 ※授業料の給付については、授業料から奨学金額に該当する金額の納付を免除することで給付したものとします。	4年間(1年毎に継続審査あり)		地域の制限なし	入試課	併用不可	条件有り併用可	
	スポーツ特待生A・B・C	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料免除		総合選抜、スポーツ推薦選抜の受験者(対象学部：社会福祉学科、人間社会学科、健康スポーツ学科)のうち、高等学校の学習成績の状況(評定平均値)が3.0以上であり、以下に当てはまる者 特待(選手・サポーター)・練習生(男子・スキャットボール(女子)の競技においてA)に認められ、大会大賞に出場し、その個人の能力が上位認められ、入学後もその活躍が期待できる者 ※大会賞額(大会賞金)が追加で認められ、その個人の能力が優れていること、入学後もその意欲が持続する者 C)活動実績がスポーツ特待生A・Bの基準に達しないが、個人の能力が評価され、入学後もその活躍が期待される者 原則として出願まで(練習)に以上に参加し、実力が認められた者	免除・減免	スポーツ特待生A：授業料の全額を給付 スポーツ特待生B：授業料の50%を給付 スポーツ特待生C：授業料の20%を給付 ※授業料の給付については、授業料から奨学金額に該当する金額の納付を免除することで給付したものとします。 ※別選は特待生B・Cのみの募集となります。	4年間(1年毎に継続審査あり)		地域の制限なし	入試課	併用可	条件有り併用可	
	専断特待生	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料免除		総合選抜、指定校推薦選抜、公募推薦選抜、学園特別推薦選抜の受験者(対象学部：社会福祉学科、人間社会学科、健康スポーツ学科)のうち、高等学校の学習成績の状況(評定平均値)が4.5以上で、両親の収入合計が800万円以下の者 ※(他)日本学生支援機構給付奨学金との併用不可	免除・減免	授業料の100%を給付 ※授業料の給付については、授業料から奨学金額に該当する金額の納付を免除することで給付したものとします。	4年間(1年毎に継続審査あり)		地域の制限なし	入試課	併用不可	条件有り併用可	
	特待生	その他	申請不要	特待生・成績優秀者 入学金・授業料免除		一般選抜、共通テスト利用選抜受験者(対象学部：社会福祉学科、人間社会学科、健康スポーツ学科)の成績優秀者	免除・減免	授業料の30%を給付 ※授業料の給付については、授業料から奨学金額に該当する金額の納付を免除することで給付したものとします。	4年間(1年毎に継続審査あり)		地域の制限なし	入試課	併用可	条件有り併用可	
	ひとり暮らしスタート支援金	学校出願時		学費支援 入学金・授業料免除		選抜のうち、遠隔地において下宿や寮での生活が望ましい者(対象学部：社会福祉学科、人間社会学科、健康スポーツ学科) 高等学校の学習成績の状況(評定平均値)が3.0以上で、両親の収入合計が900万円以下の者	免除・減免	授業料から30万円を減免	入学時のみ		地域の制限なし	入試課	併用可	併用可	
	看護学科奨学生	学校出願時		入学金・授業料免除		指定校推薦選抜、公募推薦選抜、学園特別推薦選抜の受験者(対象学部：看護学科)のうち、 ①学習成績の状況(評定平均値)が3.0以上の者 ②両親の収入合計が800万円以下の者 ※(他)日本学生支援機構給付奨学金との併用不可 ③向上心の強い人物であること ④本学の教育方針に合い、本学学生の規範となる人物であること。 ⑤人物、学業共に優秀で志望堅固であること。 ⑥健康状態良好で高等専門学校における卒業見込みがよいこと。	免除・減免	授業料の30%を給付 ※授業料の給付については、授業料から奨学金額に該当する金額の納付を免除することで給付したものとします。	4年間(1年毎に継続審査あり)		地域の制限なし	入試課	併用不可	条件有り併用可	
	看護学科特待生A	その他	申請不要	特待生・成績優秀者 入学金・授業料免除		試験選抜受験者(対象学部：看護学科)の成績優秀者	免除・減免	授業料の全額を給付 ※授業料の給付については、授業料から奨学金額に該当する金額の納付を免除することで給付したものとします。	4年間(1年毎に継続審査あり)		地域の制限なし	入試課	併用可	条件有り併用可	
	看護学科特待生B	その他	申請不要	特待生・成績優秀者 入学金・授業料免除		試験選抜、共通テストプラス選抜(A日程)受験者(対象学部：看護学科)の成績優秀者	免除・減免	授業料の50%を給付 ※授業料の給付については、授業料から奨学金額に該当する金額の納付を免除することで給付したものとします。	4年間(1年毎に継続審査あり)		地域の制限なし	入試課	併用可	条件有り併用可	
	看護学科ひとり暮らしスタート支援金	学校出願時		学費支援 入学金・授業料免除		看護学科受験生のうち、 ①学習成績の状況(評定平均値)4.0以上の者 ②遠隔地において下宿や寮での生活が望ましい者 ③両親の収入合計が800万円以下の者	免除・減免	授業料から30万円を減免	入学時のみ		地域の制限なし	入試課	併用可	併用可	
	在学支援制度	入学後		学費支援 入学金・授業料免除		社会福祉学科、人間社会学科、健康スポーツ学科、看護学科の在学学生(2～4年生)で一定の取得単位数を満たしており、両親の収入合計が800万円以下の者 ただし、(他)日本学生支援機構の「給付奨学金」との併用不可。	免除・減免	授業料の50%を減免	1年間(※継続申請可)		地域の制限なし	学生支援課	併用不可	条件有り併用可	
	緊急支援制度	随時		学費支援 入学金・授業料免除 被災者資金支援		社会福祉学科、人間社会学科、健康スポーツ学科、看護学科の在学学生(1～4年生)で両親の収入合計が800万円以下の者 ※(他)日本学生支援機構の「給付奨学金」に該当者も申請可。 ※入学後に、主たる養育費の死亡・長期入院・失業及び災害等の事由により授業料等の納入が不可能になった時(事由発生から1年以内申請)	免除・減免	授業料の50%を減免	1年間		地域の制限なし	学生支援課	併用可	条件有り併用可	
	社会福祉学科奨学生	学校出願時		入学金・授業料免除		受験生のうち、以下いずれかに該当する者(対象学部：社会福祉学科) 1)労働出土産物・介護福祉士国家試験受験資格・修士資格を取得している者、または当該年度中に取得見込みの者 ※複数資格を有している者、または当該年度中に取得見込みの者	免除・減免	授業料の30%を給付 ※授業料の給付については、授業料から奨学金額に該当する金額の納付を免除することで給付したものとします。	4年間(1年毎に継続審査あり) ※3年次編入学生は2年間		地域の制限なし	入試課	併用可	条件有り併用可	
	松山東雲女子大学	しのめ精神奨励金	学校出願時		用途を定めない経済的支援		①2024年3月卒業見込みの高校生で、本学を専攻とする者。 ②2024年3月卒業見込みの高校生で、本学を専攻とする者。 ③ 日本学生支援機構給付奨学金の対象に該当しない(日本学生支援機構ホームページ「奨学金シミュレーター」必須)かつ世帯年収が800万円以下の者。 ※継続審査実施年度(出願していない場合は、変更年度に申請または再申請)で、採用継続率に達しない場合は、本制度の採用は中止されます。	給付奨学金	年間20万円		18名	地域の制限なし	入試課	併用不可	条件有り併用可
		ひとり暮らし応援奨励金	学校出願時		用途を定めない経済的支援		①2024年3月卒業見込みの高校生で、本学を専攻とする者。 ② 家族以外に在学または家族内での一人暮らしに在籍の者。 ③ 家族以外から家族内での一人暮らしを希望している者。	給付奨学金	入学時に10万円		18名	地域の制限なし	入試課	併用可	条件有り併用可
		児童養護施設入所者奨励金	学校出願時		用途を定めない経済的支援		児童養護施設特別選抜の受験者対象	給付奨学金	入学時に12万円		若干名	愛媛県	入試課	併用可	併用不可
地域人材育成奨励金		学校出願時		用途を定めない経済的支援		1)2024年3月卒業見込みの高校生で、高等学校等で地域連携・地域貢献に関わる活動に取り組んでいた実績のある者。 2)入学後も地域で活躍する意欲を持っている者。	給付奨学金	奨励金として1万円支給		各専攻2名以内	地域の制限なし	入試課	併用不可	条件有り併用可	
しのめ精神奨励金		学校出願時		用途を定めない経済的支援		①2024年3月卒業見込みの高校生で、本学を専攻とする者。 ② 本学に編入した者が在学している者。または姉妹が同時に入学する場合、同時に入学する場合は姉が対象 ③ 在学中に在籍している者(もしくは姉)が在籍している者(または姉)が卒業する場合は、本制度は適用されません。 ※対象者が入学と入れ替わり3回(もしくは姉)が卒業する場合は、本制度は適用されません。	給付奨学金	入学時に20万円		5名	地域の制限なし	入試課	併用可	条件有り併用可	
編入入学奨励金		学校出願時		用途を定めない経済的支援		松山東雲短期大学を卒業見込みまたは卒業した者。 2年次学期の成績がDの範囲に在学する学科の1名以上。(卒業した者については卒業時のGPAを基準)	給付奨学金	年間20万円		10名	地域の制限なし	入試課	併用可	併用不可	
学校推薦型選抜(スポーツ)特待生		その他	特待生審査書類提出期間に申請	特待生・成績優秀者		特待生A：全国大会に出場し、優秀な成績を収めた者。 特待生B：地方大会(国体大会、九州大会等)に出場し、優秀な成績を収めた者。	給付奨学金	※大会実績等に基づき学内審査にて決定			地域の制限なし	入試課	併用可	条件有り併用可	
成績優秀特待生		その他	合格に併封します。	特待生・成績優秀者		一般選抜(A日程)の成績優秀者	給付奨学金	授業料の半額相当		各専攻1名	地域の制限なし	入試課	併用可	条件有り併用可	
高知リハビリテーション専門職大学		高知リハビリテーション専門職大学奨学生制度(成績優秀)	在学中	1年生～4年生	特待生・成績優秀者 入学金・授業料免除		「大学の規程により、成績が優等で認められた学生(1年生～4年生)。	免除・減免	学納金(納付された分の授業料)の返還。		各専攻5名以上より最大1名。(最大計12名)	地域の制限なし		併用可	併用可
学生支援奨学金制度		入学手続時			その他	賢育担当	遠隔地から入学する新入生が対象。(1年以内の再編入試験合格者)	給付奨学金	月額20,000円給付	最大4年間(休学期間除く)	1学年10名程度	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可